

V 財政運営の状況

1	今後の行財政運営の考え方について……………	151
2	基金の状況……………	153
3	今後の財政見通し……………	156

I 趣 旨

本区はこれまで、自主的で自律的な行財政運営を確立し、将来にわたって質の高い行政サービスを継続的かつ安定的に提供していくことをめざしてきました。今後も、基礎的な地方公共団体として、区民や事業者のニーズを的確にとらえ、それらに寄り添った施策を柔軟かつ迅速に展開していくためには、適切な行財政運営が不可欠です。

今般、千代田区第4次基本構想に掲げるめざすべき将来像に向けた取組みを展開していくにあたり、今後の行財政運営の考え方を示します。

II 今後の行財政運営の考え方

本区の人口は当分の間増加傾向にあり、行政需要は今後も複雑化、多様化していくことが想定されます。一方、我が国の総人口は、平成20（2008）年をピークに減少に転じており、経済の活力低下や将来の公共サービスの担い手不足などが危惧されています。加えて、今後の社会経済情勢はこれまで以上に急速に変化していくことが想定されています。

こうした状況のもと、千代田区第4次基本構想に掲げるめざすべき将来像を実現するため、以下の考え方に基づき行財政運営を推進していきます。

1 変化に柔軟に対応できる行財政運営の推進

今後の変化の激しい社会経済情勢においても、質の高いサービスを継続的、安定的に提供するとともに、新たな課題にも迅速かつ柔軟に対応していくことが必要です。このため、毎年度の予算編成の際、時々の課題や各種の分野別計画を踏まえて中期的な取組みの方針を定め、速やかに実行に移していきます。また、人材育成による職員の能力向上を図るとともに、簡素で効率的な組織体制を構築し、機動的な行政運営を推進します。

複雑、多様化する行政需要や増加する業務量に対しては、人材の有効活用を図るとともに、事務事業の見直しや業務改善、デジタル技術の活用や民間開放などを推進し、これにより生み出した人的資源を新たな政策分野やサービスの質の向上に振り向け、組織や人員の肥大化を招かないよう努めます。

2 持続可能な財政基盤の確立

限られた経営資源のもと、徹底した事務事業の見直しを不断に行い、持続可能な財政基盤を確立します。また、自主的、自律的な財政運営を行うため、自主財源の確保に努めます。

さらに、サービスを利用する人と利用しない人の間に不公平が生じないよう、受益者負担の適正化を図るとともに、毎年度の予算執行に当たっては、各種補助金等の歳入確保と創意工夫による経費の節減を図ります。

これらに加え、様々な行政需要に対応していくため、各特定目的基金や財政調整基金を有効に活用する、中期的な見通しを持った計画的な財政運営を推進するとともに、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年法律 94 号）（以下「財政健全化法」という。）に基づき、健全な財政運営を維持していきます。

3 将来世代に負担を先送りしない財政運営の推進

大規模な施設建設などのため、当該年度で一時的に多額の資金を要し財源不足が生じる場合や、減税その他の税収不足を補填する場合などに、一定の要件のもと、区債を発行する場合があります。

区債を発行すると、区が将来にわたり元利償還金を支払う義務が生じるため、財政の硬直化を招く要因となり、柔軟かつ迅速な施策の展開が困難になるおそれが生じます。

そのため、現在と将来の世代間負担の公平性を図る区債の意義を踏まえつつ、財政健全化法に基づく適切な将来負担比率の維持に努め、できる限り将来世代に負担を先送りしない財政運営を行います。

4 透明性のある行財政運営の推進

開かれた行財政運営を推進していくため、区の職員の給与や定数管理、財政運営の状況等を年に 1 回以上公表し、透明性を確保していきます。

2

基金の状況

- 区は、年度間の財源調整を図るための財政調整基金、特定の事業に充てるための特定目的基金を設置しています。
- 財政調整基金は財源不足対応に13億76百万円の繰入れを予定しています。
- コミュニティ活性化基金は商工関係団体等支援事業や地域コミュニティ活性化事業に1億17百万円の繰入れを予定しています。
- 社会資本等整備基金は（仮称）四番町公共施設整備（工事費、工事監理委託料）や橋梁の整備などに38億55百万円の繰入れを予定しています。
- 災害対策基金は災害対策用物資・機器等の整備（備蓄物資・機器等の整備）や総合防災情報システムの構築などに2億73百万円の繰入れを予定しています。
- 高齢者福祉基金は高齢者総合サポートセンター管理運営（総合相談、指定管理料）や介護人材確保・定着・育成支援（介護保険施設等人材確保・定着・育成支援）などに4億42百万円の繰入れを予定しています。
- 環境対策基金は地球温暖化対策（地球温暖化対策の推進、建築物の省エネ推進）や街路灯のLED化などに4億70百万円の繰入れを予定しています。
- 子ども・子育て支援事業基金は用途を拡大し、学校給食（小学校管理費、中学校管理費、中等教育学校管理費）や学校運営（ICT学校教育システムの推進）（中等教育学校管理費）などに10億33百万円の繰入れを予定しています。
- 地域福祉支援基金は社会福祉協議会支援に8百万円の繰入れを予定しています。
- 介護給付費準備基金は居宅介護サービス給付事業に1百万円の繰入れを予定しています。

POINT 区の基金の種類について

Q 区にはどのような基金がありますか？

A 区の基金は、財政調整基金、特定目的基金、定額運用基金の大きく3種類に分けられます。

Q 財政調整基金とは何ですか？

A 財政調整基金は、年度間の財源調整を図り、健全な区財政の運営に資する基金です。景気低迷の影響などで区税をはじめとした歳入が一時的に減少し、歳出とのバランスがとれない場合には繰入れを行い、逆に歳入が予算で考えていた以上に多く収入されたときは、基金への積立てを行います。

Q 特定目的基金とは何ですか？

A 特定目的基金は、区の施策実現のための特定の事業に対する財源を確保するために設置している基金です。

Q 定額運用基金とは何ですか？

A 定額運用基金は、特定の目的のために定額の資金を運用するうえで設置する基金です。

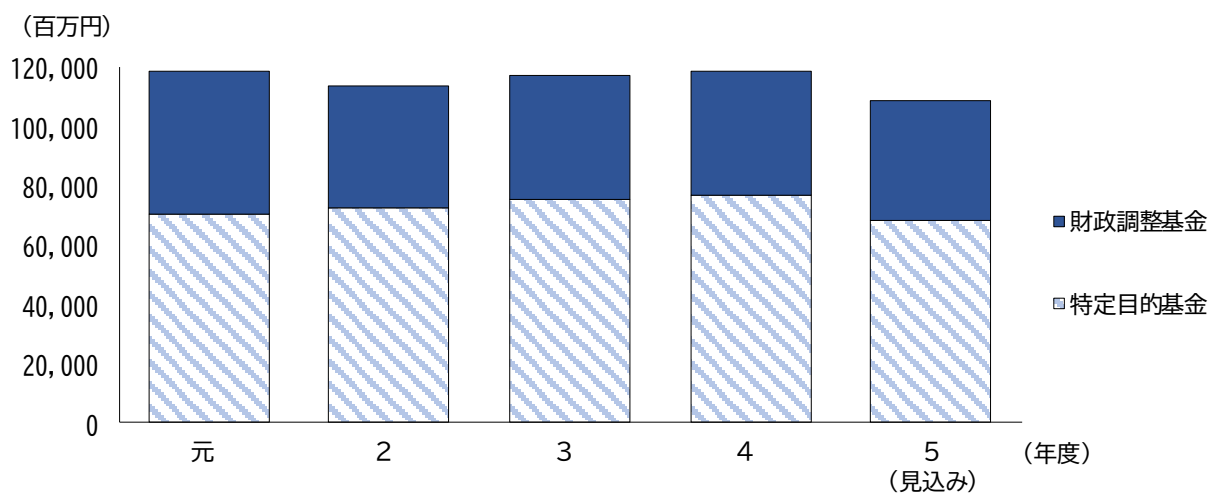
基金年度末残高と基金繰入額の推移

(単位：百万円)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (見込み)
積立基金	118,654	114,006	117,546	119,028	108,506
財政調整基金	48,148	41,606	42,079	42,221	40,005
特定目的基金	70,505	72,400	75,467	76,807	68,501
コミュニティ活性化基金	1,508	1,508	1,508	1,508	1,377
社会資本等整備基金	43,937	47,373	52,361	55,174	45,601
一般積立分	33,511	38,603	43,542	46,482	36,785
開発協力金分	9,885	8,119	8,106	7,979	8,102
交通環境改善事業寄附金分	541	651	713	713	713
災害対策基金	5,014	5,014	5,014	5,014	4,832
高齢者福祉基金	7,253	6,346	5,934	5,614	5,124
環境対策基金	6,499	6,300	6,086	5,931	5,617
子ども・子育て支援事業基金	5,741	5,309	3,915	2,922	5,437
地域福祉支援基金	252	250	247	243	238
介護給付費準備基金	301	301	401	401	277
基金繰入	1,797	11,001	3,269	4,188	16,536
基金積立	5,465	6,354	6,808	5,669	6,014
定額運用基金	—	—	500	500	500
公共料金支払基金	—	—	500	500	500

※令和5年度は見込額です。

積立基金残高の推移



令和6年度基金繰入事業一覧（一般会計）

（単位：千円）

基金名	繰入事業	繰入額	
財政調整基金	財源不足対応分	1,375,981	
コミュニティ活性化基金	地域コミュニティ活性化事業	12,212	
	商工関係団体等支援事業	104,897	
社会資本等整備基金	軽井沢少年自然の家管理運営（施設改修）	3,037	
	施設改修（小学校管理費）	306,165	
	施設改修（中等教育学校管理費）	31,525	
	富士見みらい館施設整備	253,083	
	児童福祉施設管理運営（施設改修）	10,924	
	（仮称）四番町公共施設整備（工事費、工事監理委託料）	1,313,070	
	いきいきプラザ一番町管理運営（維持補修等）	74,443	
	岩本町ほほえみプラザ管理運営（維持補修等）	5,350	
	（仮称）神田錦町三丁目施設の整備（基本・実施設計）	41,055	
	万世橋区民館管理運営（維持補修等）	6,371	
	和泉橋区民館管理運営（維持補修等）	103,088	
	内幸町ホール改修整備（基本・実施設計）	36,062	
	ちよだアートスクエア改修整備（基本・実施設計）	77,367	
	花小金井運動施設（維持補修等）	15,301	
	地域別まちづくりの推進（神田駿河台地域まちづくりの推進）	15,151	
	橋梁の整備	735,117	
	公園・児童遊園の整備（公園・児童遊園の整備、東郷元帥記念公園の整備）	556,440	
	本庁舎管理（本庁舎管理）	92,961	
	うち開発協力金	借上型区民住宅制度終了に伴う支援措置	34,572
		次世代育成住宅助成	144,084
災害対策基金	情報連絡網の整備（防災行政無線維持管理）	33,287	
	災害対策用物資・機器等の整備（備蓄物資・機器等の整備）	189,361	
	総合防災情報システムの構築	50,247	
高齢者福祉基金	高齢者総合サポートセンター管理運営（総合相談、指定管理料）	206,195	
	介護施設等助成（THE BANCHO土地賃借料助成）	70,000	
	介護人材確保・定着・育成支援（介護保険施設等人材確保・定着・育成支援）	74,467	
	よろず総合相談（よろず総合相談）	45,630	
	認知症支援サービス（仮称）神田錦町三丁目施設の整備（基本・実施設計）	41,055	
環境対策基金	風ぐるま（地域福祉交通）	29,150	
	ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進	30,091	
	地球温暖化対策（地球温暖化対策の推進、建築物の省エネ推進）	251,188	
	街路灯のLED化	158,000	
	ごみの収集・運搬（ZEVごみ収集車導入に向けた検討）	1,400	
子ども・子育て支援事業基金	教育ローン利子補給金	24,920	
	教材費一部補助	52,511	
	インクルーシブ教育の推進（特別支援学級通学支援）	107,899	
	学校給食（小学校管理費、中学校管理費、中等教育学校管理費）	305,893	
	学校運営（ICT学校教育システムの推進）（中等教育学校管理費）	123,995	
	子どもの遊び場確保の取組み	87,008	
	私立保育所等運営補助（認可保育所）	12,040	
	認証保育所等運営補助	8,600	
	就学前の子どものための保育・教育の推進（区内保育施設利用におけるおむつ等支援事業）	94,380	
	ベビーシッター利用支援事業	2,100	
	児童センター・児童館事業運営（子育てひろば、一般運営）	14,267	
	私立学童クラブ整備補助	117,175	
	児童・家庭支援センター管理運営	62,214	
	四番町保育園・児童館仮施設整備・運営	20,328	
地域福祉支援基金	社会福祉協議会支援	8,453	
合計		7,574,511	

3

今後の財政見通し

以下の前提条件のもと、今後の財政見通しを作成しました。

全般的事項

- 1 一般会計で行う全事業を対象に、財源と併せて推計しました。
- 2 経常歳出等のシーリングは、行っていません。
- 3 人口の増加による歳入・歳出への影響を見込んでいます。
- 4 令和6年度予算の数値を基礎として、以下の要因を見込んでいます。

歳入

1 特別区税

特別区民税、特別区たばこ税、軽自動車税、入湯税の合計です。特別区民税は、人口の増に伴う納税義務者数の増を見込んでいます。特別区たばこ税は、たばこ売渡本数の減を見込んでいます。

2 地方消費税交付金

暦日要因による影響を見込んでいます。

3 基金繰入金

様々な目的のために区で設置している各種基金の取崩しです。

歳出の増減に伴い、財源として繰り入れる基金繰入の増減を見込んでいます。

4 国・都支出金、その他の特定財源

道路占用料の改定による増や歳出の増減に伴う国・都支出金の増減等を見込んでいます。基金利子について、財政調整基金は0.15%、社会資本等整備基金(一般積立分)は0.04%、その他は0.02%の利率(固定)で見込んでいます。

歳出

1 義務的経費

法令等で支出が義務付けられており、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費(生活保護費など、社会保障制度の一環として、各種法令等に基づき行う給付に要する経費)、公債費(区の借金の返済に要する経費)の合計です。

人件費は、職員数の増による職員給与費の増や定年引上げの影響による退職手当の増減等を見込んでいます。扶助費は、人口の増による給付の増を見込んでいます。

2 投資的経費

学校、区民施設や道路・橋梁の整備等に係る経費です。施設整備の進捗や計画的な施設保全経費等を見込んでいます。

施設規模や整備年次が定まっていない事業は、整備経費や業務量等の年度間バランスを考慮して見込んでいます。

3 一般的な事業費

上記1、2以外の全ての歳出で、施設の運営に係る委託料、区民や事業者等への補助金、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療制度の区負担分等の合計です。

区債残高(年度末)

区債の新規発行は見込んでいません。

基金残高(年度末)

各年度の基金繰入や実質収支・運用利子の基金積立の結果、各年度末に見込まれる基金残高です。

令和6年度～令和15年度の財政見通し（一般会計ベース）

（単位：百万円）

区 分	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11～15年度	合計
歳入（A）	69,576	70,283	78,805	69,746	70,910	360,840	720,160
一般財源	43,667	42,888	43,606	42,816	43,381	232,576	448,934
特別区税	24,932	25,232	25,534	25,629	25,939	133,832	261,098
地方消費税交付金	10,400	11,400	12,300	11,400	11,400	56,900	113,800
特別区交付金	5,063	4,360	3,876	3,891	4,146	22,822	44,158
基金繰入金	1,376	0	0	0	0	9,542	10,918
財政調整基金	1,376	0	0	0	0	9,542	10,918
その他の一般財源	1,896	1,896	1,896	1,896	1,896	9,480	18,960
特定財源	25,909	27,395	35,199	26,930	27,529	128,264	271,226
国・都支出金	8,719	9,782	9,395	9,035	9,265	46,982	93,178
基金繰入金	6,199	5,567	13,716	6,320	6,564	22,391	60,757
特定目的基金	6,199	5,567	13,716	6,320	6,564	22,391	60,757
その他の特定財源	10,991	12,046	12,088	11,575	11,700	58,891	117,291
歳出（B）	69,576	70,283	78,805	69,746	70,910	360,840	720,160
義務的経費	22,524	22,828	23,689	23,268	24,001	120,578	236,888
人件費	14,107	13,860	14,634	14,055	14,666	72,374	143,696
職員給与費	10,223	10,395	10,517	10,589	10,593	53,315	105,632
退職手当	834	416	1,068	417	1,024	3,814	7,573
その他の人件費	3,050	3,049	3,049	3,049	3,049	15,245	30,491
扶助費	8,417	8,968	9,055	9,213	9,335	48,204	93,192
公債費	0	0	0	0	0	0	0
投資的経費	7,393	7,253	15,700	6,213	7,550	42,940	87,049
一般的な事業費	39,659	40,202	39,416	40,265	39,359	197,322	396,223
差引収支(A) - (B)	0	0	0	0	0	0	0
区債残高(年度末)	0	0	0	0	0	0	
基金残高(年度末)	101,894	97,560	85,097	80,022	74,705	48,963	
財政調整基金	39,269	39,905	40,552	41,195	41,842	35,538	
特定目的基金	62,625	57,655	44,545	38,827	32,863	13,425	
基金残高(対6年度末増減)	0	△4,334	△16,797	△21,872	△27,189	△52,931	

POINT 今後も健全な財政運営をめざします

- 各種基金を今後10年間で子育てや教育、高齢者施策、施設整備等に717億円を活用し、124億円を積み立て、令和15年度末の基金残高は490億円となる見込みです。
- 人口が増加傾向にあることから、特別区税は増加していく見込みですが、事務事業の見直しを不断に行うなど、持続的な財政運営に努めます。
- 平成12年度以降、新たに区債（借金）を発行しておらず、令和4年度で償還を完了（完済）しました。今後も、現在と将来の世代間負担の公平性を図る区債の意義を踏まえつつ、できる限り将来世代に負担を先送りしない財政運営を行います。

令和6年度～令和15年度の財政見通しにおける基金充当一覧

(単位：百万円)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11～15年度	合計
基金繰入金合計	7,575	5,567	13,716	6,320	6,564	31,933	71,675
財政調整基金繰入金	1,376	0	0	0	0	9,542	10,918
財源不足対応分	1,376	0	0	0	0	9,542	10,918
コミュニティ活性化基金繰入金	117	117	117	117	117	585	1,170
地域コミュニティ活性化事業	12	12	12	12	12	60	120
商工関係団体等支援事業	105	105	105	105	105	525	1,050
社会資本等整備基金繰入金	3,855	3,107	9,760	4,184	4,305	16,447	41,658
区有施設整備・都市基盤整備等	3,855	3,107	9,760	4,184	4,305	16,447	41,658
地域福祉支援基金繰入金	8	8	8	8	8	40	80
社会福祉協議会支援	8	8	8	8	8	40	80
災害対策基金繰入金	273	184	184	184	184	920	1,929
防災行政無線維持管理	33	0	0	0	0	0	33
備蓄物資・機器等の整備	189	184	184	184	184	920	1,845
総合防災情報システムの構築	50	0	0	0	0	0	50
高齢者福祉基金繰入金	442	699	2,235	422	426	904	5,128
運営費補助等	401	407	410	422	426	904	2,970
高齢者施設整備	41	292	1,825	0	0	0	2,158
環境対策基金繰入金	470	709	638	641	758	2,133	5,349
各種助成制度等	470	709	638	641	758	2,133	5,349
子ども・子育て支援事業基金繰入金	1,033	743	774	764	766	1,362	5,442
運営費補助等	1,033	743	774	764	766	1,362	5,442

区有施設や橋梁、公園整備の見通し

■新築・改築施設

施設名	所在地	完了予定
(仮称) 四番町公共施設	四番町1番地、11番地	令和8年度
(仮称) 神田錦町三丁目施設	神田錦町三丁目10番地	令和8年度

■改修や大規模修繕などが予定される施設

施設名	所在地	完了予定
内幸町ホール	内幸町一丁目5番1号	令和8年度
ちよだアートスクエア	外神田六丁目11番14号	令和8年度

■改修・整備予定の橋梁、公園など

橋梁・公園名	所在地	完了予定	備考
お茶の水橋	神田駿河台二丁目	令和6年度	工事（補修補強）
後楽橋	神田三崎町三丁目	令和6年度	工事（補修補強）
雉子橋	一ツ橋二丁目	令和12年度	工事（補修補強）
新川橋	飯田橋二丁目	令和7年度	工事（塗装塗替等）
南堀留橋	九段北一丁目	令和8年度	工事（塗装塗替等）
三崎橋	飯田橋三丁目	—	令和6年度設計 （補修・塗装塗替）
宝田橋	神田神保町三丁目	—	令和6年度設計 （補修・塗装塗替）
東郷元帥記念公園	三番町18番地	令和7年度	
神田橋公園	神田錦町一丁目29番地	—	令和6年度設計
外濠公園	五番町	令和7年度	

■その他令和6年度予算で調査検討段階のもの

施設名等	令和6年度取組内容
番町小学校・幼稚園	施設整備に伴う影響や条件の整理、モデルプランの検討等
和泉小学校・いずみこども園等施設	整備に向けた調整
旧和泉町ポンプ所跡地	跡地活用の調査・検討
スポーツセンター	事業手法の検討等、基本構想の策定
九段生涯学習館	機能等の調査・検討